

次世代自動車センター活動レポート Vol.1

「設立記念講演会」

会員

募集中

日 時 平成 30 年 4 月 23 日 (月)

会 場 グランドホテル浜松

参加者 488 名

次世代自動車の動向や国の戦略などとともに、同センターの概要をご説明させていただくことを目的とした「次世代自動車センター設立記念講演会」を開催しました。

【当日の次第】

第 1 部

主催者挨拶

来賓挨拶

経済産業省 関東経済産業局長 後藤 収 氏

静岡県知事 川勝 平太 氏

浜松市長 鈴木 康友 氏

浜松商工会議所 会頭 大須賀 正孝 氏

次世代自動車センター概要説明

次世代自動車センター センター長 望月 英二

第 2 部

基調講演「国の次世代自動車戦略について」

講師：経済産業省 製造産業局 自動車課長 河野 太志 氏

パネルディスカッション「次世代自動車センターに期待すること」

ファシリテーター 次世代自動車センター センター長 望月英二

パネリスト

経済産業省 製造産業局 自動車課長 河野 太志 氏

ヤマハ発動機株式会社 取締役 上席執行役員 島本 誠 氏

株式会社デンソー エレクトロニックコンポーネント事業部 常務役員 海老原 次郎 氏

A S T I 株式会社 参与 波多野 淳彦 氏

静岡理工科大学 名誉学長 荒木 信幸 氏



【基調講演のポイント】

○2007 年以降、海外生産台数が国内生産台数を上回るなど、国内市場は成熟化したが、海外市場の急拡大により高成長を実現してきた。

- EV化への課題として、価格、航続距離、充電時間がある。
- もっとも、電池パックの重量エネルギー密度を向上させることで、EVの航続距離の延長が期待される。
- 経済産業省では、「自動車新時代戦略会議」開催し、自動車政策の在り方について戦略的な議論を始めている。
- CASE対応について、自動車会社が個別に開発を行うことはリソース的にも限界があることから、世界では各社が共通して利用する共有インフラを「協調領域」として設定し、対応を検討している。

【パネルディスカッションのポイント】

(1) 次世代自動車への対応

- サプライチェーンが従来のものとは大きく変わる可能性がある。
- 特に電動化は、多くのビジネスチャンスを創出するかもしれないという視点も大切。
- 時間軸を区切って対応すること、5年後、10年後と切り分けて考えることが必要。
- 次世代自動車への対応について、現在のビジネスをこなしながら、新しいビジネスを行わなければならぬ、それも確実に儲かるかどうか分かりにくいリスクあるという点が簡単ではない。
- 既存分野の生産性を高めることが必要。

(2) 次世代自動車センターへの期待

- 時間軸はともかく、準備期間はある、確実に起きることだからスピード感の問題。新たな取組みもサプライヤーの世界でも必要となってくる

会場に掲示された「EVシフトによって影響を受ける部品」のパネル前には多くの参加者が足を止めて見入られるなど、会場は熱気に包まれ、次世代自動車センターに対する地域の期待の大きさを感じました。いわゆる「EVシフト」がいつ来るのかは分かりません。しかし、到来することは確実であり、将来に備えることは必要です。次世代自動車センターとしても意欲溢れる会員企業の皆様を支援できるよう、尽力していきたいと思います。